

記録膜の透過特性の最適化と精密な層形成技術により、 長時間記録と高速データ転送を実現した ライトワンス型 大容量プロフェッショナルディスク PFD128QLW

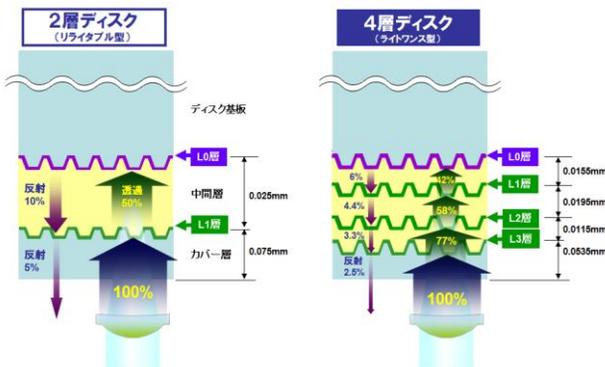


高耐久性、長期保存性をそのまま継承し、片面4層の記録層を高密度記録に対応させることで、128GB(ギガバイト)の大容量記録が可能となりました。高解像度フォーマットでの長時間記録に対応し、50年以上*の長期保存が可能のため、アーカイブ用途にお勧めします。

*加速試験による推定値

ライトワンス型記録膜を新開発

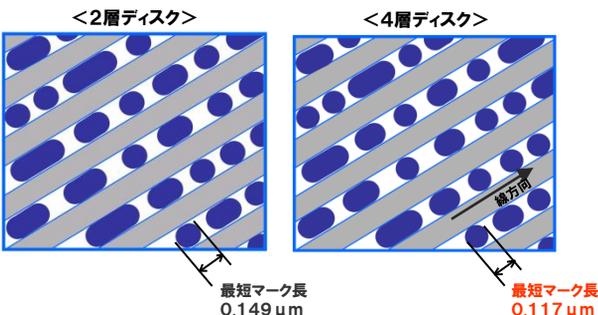
ライトワンス型ディスク用に記録膜素材を開発し、ディスク片面に4層の記録膜を生成しました。L1層からL3層では「半透過性」記録膜を採用し、高精度な製造技術により「透過特性」「反射特性」「光吸収特性」のバランスを最適化しています。また精密な層形成により、各層の安定した書き込み/読み出しを実現しています。



ライトワンス型の記録膜素材はリライタブル型のものに比べて反応速度が速く、書き込み速度が向上しているのに加え、XDCAM機器の新開発「DCHSプロフェッショナルディスクドライブ」により読み出し速度も高速化しているため、アーカイブワークフローが効率的に行えます。また、ファイナライズをすることで改ざん防止が可能となるため、重要な映像資産のアーカイブに最適です。

高密度記録の実現

プロフェッショナルディスクでは、短波長の青紫色レーザーを高出力で照射し、記録膜の状態を変化させることでディスク上に信号を記録しています。記録膜を変化させ、周囲との反射率の違いによって信号として認識します。その部分を「マーク」と呼びますが、最も短いマークの長さ(最短マーク長)は、1層ディスクでは0.160μm、2層ディスクでは0.149μmであるのに対して、4層ディスクではさらに短い0.117μmとなっています。最短マーク長を短くして、線方向の記録密度を高めることで、2層ディスク50GBの2倍以上の128GBを実現しています。



アーカイブケースモデルをラインアップ

通常ケースモデル『PFD128QLW』と併せて、アーカイブケースモデル『PFD128QLWG』をラインアップ。アーカイブケースは、ライブラリー運用に欠かせないキューシートをケースの内側に収納できます。また、タイトルラベルや管理用バーコードラベルなどが貼りやすいよう、十分な背ラベルエリアを確保しています。

<記録時間>

記録フォーマット	記録モード	記録時間
MPEG HD422	50Mbps	約240分
MPEG HD	HQモード 可変ビットレート 上限値35Mbps	約360分
	SPモード 固定ビットレート 25Mbps	約480分
	LPモード 可変ビットレート 上限値18Mbps	約600分
MPEG IMX	50Mbps	約240分
DVCAM	25Mbps	約450分

*記録条件により、上記に記載した時間と異なる場合があります。
*記録フォーマット、対応ディスクは機器により異なります。

<主な仕様>

	PFD128QLW	PFD128QLWG
カートリッジ寸法(W×H×D)	129×131×9mm	
ケース寸法(W×H×D)	145×158×14mm (通常ケース)	160×172×19mm (アーカイブケース)
ディスク直径	12cm	
記録容量	128GB	
記録波長	405nm(青紫色レーザー)	
記録方式	相変化型	
トラックピッチ	0.32μm	
データ転送(書き込み)レート*	最大144Mbps	
読み出し回数	1,000,000回以上	
データ保存寿命	50年以上(加速試験による推定値)	

*データ転送レートは、使用する機器および機能により異なります。

『PFD128QLW』『PFD128QLWG』は、4層ディスク対応ドライブを搭載したXDCAM機器で使用できます。詳細は機器の取扱説明書をご確認の上ご使用ください。

